

# 【平成25年度 第2回定例会 委員会付託予算関連議案】

議案第 45 号【平成 25 年度伊豆市一般会計補正予算（第 1 回）】

歳入・歳出それぞれ 70 万円減額し 156 億 2230 万円とする。

議案第 46 号【平成 25 年度伊豆市国民健康保険特別会計補正予算（第 1 回）】

歳入・歳出それぞれ 280 万円減額し 48 億 5880 万円とする。

議案第 47 号【平成 25 年度伊豆市介護保険特別会計補正予算（第 1 回）】

歳入・歳出それぞれ 80 万円減額し 28 億 9200 万円とする。

議案第 48 号【平成 25 年度伊豆市下水道事業特別会計補正予算（第 1 回）】

歳入・歳出それぞれ 50 万円増額し 12 億 8230 万円とする。

議案第 49 号【平成 25 年度伊豆市上水道事業会計補正予算（第 1 回）】

収益的支出 26.4 万円の増額・資本的支出 12.5 万円の減額

※ 上記補正予算のおもな増減の要因は、定期異動に伴う職員給与等です。

※すべての議案は可決・承認されました

6 月議会

平成25年度第2回伊豆市議会定例会

小長谷順二通信

Vol. 3 号



### 【土肥クリーン作戦復活】

土肥山川流域連合区河川清掃隊を立ち上げ 6 月 30 日に決行しました。100 名以上の住民がボランティアで参加し、建設業の協力を得て、効率よく作業をする事が出来ました。地域の活性と意識向上の為に今後も是非続けて行きましょう。

小長谷順二 後援会事務所  
伊豆市土肥 450-7  
TEL/FAX 0558(98)0400  
<http://jkonagayablog.fc2.com/>  
Email photo-ko@vcs.wbs.ne.jp

## 行政報告 伊豆市長

### 一 コミュニティFM開局

6 月 28 日金曜日に開局し、地域と密着した各種情報の提供ができるので『声の広報』として行政情報や防災情報の情報伝達の向上が図られるものと期待する。

### 二 新たな地域づくり制度

地域課題を解決するために、自ら企画し具体的な取り組みを行う地域づくりを目指します。概ね旧小学校区単位で協議会を設置して課題検討をし、地域でできる具体的な活動を自ら実行していきます。その活動を支援するため、職員の派遣や行政支援を行います。

### 三 伊豆市における災害協定

巨大地震の危険性が想定され、この 6 月末に第 4 次被害想定を発表する予定となっております。各種災害対策を推進しているところです。この一環として各自治体・民間企業協定を締結し、災害時における支援体制の強化を図っています。広域枠組みでの自治体間での取り組み、民間企業との災害協定を広げ、災害時の広域的な支え本制の強化や必要な資機材

### 四 広域一般廃棄物処理施設の確保に努めて参ります。

伊豆市、伊豆の国市広域一般廃棄物処理施設事業は、今後も二市協同の枠組で進めてまいります。施設建設候補地の選定につきましましてはこれまでの行政主導による選定ではなく、市民と行政との双方のやり取りに重点を置いた『公募方式』により進めてまいります。

### 五 職員給与の削減措置

本来、条例により地方が自主的に決定すべき地方公務員給与に「ついて、伊豆市において、合併 9 年で 24% の人員削減を行うなどの自治体の行革努力を考慮することなく、一方的に国家公務員に準じた給与の削減を前提として地方交付税の削減を行う事は、到底容認できませんが、地方交付税に大きく依存している伊豆市にとって、重い問題であり、不本意であります。職員給与の削減の実施を決め条例案を議会に提出いたします。

# 一般質問

## Q報道機関情報提供について

A、 観光誘客だけでなく、市民が地域の情報を得る事は非常に大切に思うので、発信のしかたには更なる改善が必要だと思います。FM放送という新たな情報発信も始まりますので、『伊豆市未来塾（週末起業編）』のありかたをシティープロモーション（市の営業）のテーマとして戦略的な発信を考えていきます。伊豆市の情報ステーションは9 i z uに機能を持たせ、土肥地区は峠越えで潤沢に情報が伝わりにくいので、地域の皆さんが自由に集まり、情報を集約できる場所を作っていきたい。

## Q横断歩道安全対策について（参考資料を配布しての質問）

A、LED内照付横断歩道標識は、横断歩道を明るく照らす最新の画期的な製品であるので、危険な個所から警察に申請していく。また県に対しても住民の要望に応え、一定の優先順位を決めて街灯の設置をしていきたい。市内にもLEDを製造している会社があるので、普及に対して応援をしていきたい。

※東日本大震災以降、節電の影響で街がとても暗いので、交通安全の観点から、『住民の要望だけでなく、市もしっかりと調査して危険な個所には、警察や県に対して申請して欲しい』と申し添えました。



## Q東海地震発生時の燃料補給について

A、石油商業組合田方支部との連携は極めて重要。特に市内の販売業者と発災時における対応について是非協議をさせて頂きたいと思っている。交通路が遮断した土肥地区への燃料補給は、自力で3日分の食料も含めた備蓄を目標にしていきたいと思っている。停電時使用可能な石油ストーブについて、現在は防災備品としての備蓄は無いが、冬季の災害発生を想定して今後導入について検討していきます。

緊急車両や公共車などは、常に満タンにして備える必要もあると思いますが現在は？  
の間に対し、なるべく満タンにするように励行しているそうです。

県危機管理部との定期的な協議会が行っていないが、東部の危機管理局との意見調整は行っているため、いろいろな角度から検証をし、『防災・減災に努めていきたい』との事でした。

小長谷順二

検索

# ブログ更新中！！

次回市政報告会は秋を予定！



土肥小学校裏山避難路整備

「アイデア地域づくり事業」  
材料支給で完成させた  
手すり取り付け作業  
この補助金制度を活用しましょう！